

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	1 年次・後期・必修
	対象学科・専攻	土木工学科
基礎製図 (Design and Drawing)	担当教員	西留 清 (Nishidome, Kiyoshi)
	教員室	土木工学科棟3階 (Tel. 42- 9119)
	E-Mail	nisidome@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) ×15回	
〔本科目の目標〕 製図の基礎知識および技術の習得を目的とし、土木に関する実用製図の面に役立てる。		
〔本科目の位置付け〕 土木構造物に限らず、いまや、あらゆる分野にわたる製図がC A Dを用いて行われている。しかし、その基礎は点、点と点が結ばれた直線、3直線以上が結ばれた平面である。これら、点、直線、平面の投象を良く理解する。		
〔学習上の留意点〕 立体構造物の感覚を最終目的とするため、基礎的な点・直線の投象を必ず理解する必要がある。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 線と文字	4	文字の大きさと線および文字の書き方を習得する
2. 直線および円弧	4	直線および円周の等分法と円弧の直延および円周または半円週の直延を理解する
---後期中間試験---	8	演習
		中間テスト (授業時間に実施する) 授業項目 1～2 について達成度を確認する
3. 創造構造物	2	21 世紀型創造構造物のデザインを描き、デザイン力と創造性を高める
4. 投象	12	投象、正投象、点の投象および直線の投象を理解する 直線の実長と傾角、平行な直線および相交わる直線を求めることができる 演習
---学年末試験---		後期期末テスト (授業時間に実施する) 授業項目 3～4 について達成度を確認する
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解できる
〔教科書〕		
〔参考書・補助教材〕 プリント		
〔成績評価の基準〕 各試験毎の評価＝試験(50%)＋レポート・ノート(50%)－授業態度(上限10%) 後期末(総合評価)＝後期中間までの評価の50%＋後期中間から後期末までの評価の50%		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		